




いのちの食

令和3年1月
岐阜市立岩野田小学校
～食育だより～ 毎月19日は食育の日です

1月25日～29日は学校給食週間です

「学校給食週間」は、第二次世界大戦中に途絶えた学校給食が、国内外の多くの人の善意や協力で再開できたことを記念し、学校給食の意義と役割について考える1週間です。この期間を通し、改めて食べ物の大切さや作る人の思いを知り、感謝の気持ちをもって食べるようにしましょう。

給食の歴史について知ろう！

年号	主なできごと（全国）	給食の内容
明治22年 大正8年	山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で貧困児童を対象に無料で学校給食を実施する。 東京の小学校でパンによる学校給食を開始する。	＜明治22年頃の給食＞ 
昭和20年頃 昭和21年 昭和29年 昭和33年 昭和51年	戦後の食糧難 アメリカの援助団体ララからの支援物資（脱脂粉乳や缶詰）で学校給食が再開される。 学校給食法制定 ☆「国民の食生活の改善に寄与」し、「学校給食の普及充実を図る」目的で定められる。 給食に牛乳が導入される。 米飯給食が導入される。	＜昭和22年頃の給食＞  ＜昭和27年頃の給食＞ 
平成17年 平成21年	食育基本法公布 学校給食法の一部改正 ☆学校給食が「食に関する正しい理解と適切な判断力を養う」という役割をもち、「食育の推進を図る」目的へと改正される。	＜最近の給食＞ 

岐阜市では・・・

戦前には、冬季のみ味噌汁給食が行われた学校がありましたが、戦後の給食は昭和22年頃から始まりました。昭和25年にユニセフ指定校としてパン、ミルク、おかずをそろえた完全給食が京町小学校（現在は統合されて岐阜小学校になっています）で始まり、昭和35年に全市で週五日間給食が実施されるようになりました。

